

一般質問

一般質問 館花一仁議員（鹿真会・公明）

問 改正鳥獣保護管理法について、市の対応は。生活圏でも市長判断で、避難等の安全確保後、銃による捕獲が可能となり、猟友会では約20人が緊急銃猟実施者の要件を満たす見込み。今後、も猟友会を通じて実施者確保に努める。



問 熊・有害鳥獣対策について

答 自治体職員ハンターとして、一定の捕獲経験を積ませた市職員の育成・配備を進めるべきではないか。

問 熊などが市街地等に出没した際は、市、県警のほか、猟友会会員が参集し、事態の収束に向けて協力して対応している。猟友会からは、周辺の環境や状況、経験から熊の行動を予見し、対応への助言をいただいております。現場対応の要として活躍していただいている。現在、猟友会を

中心として緊急銃猟の実施に向けた体制が構築できていると考えている。

問 リスクエリアの可視化と住民連携（出沒マップ・整備支援）について、市の取組状況と今後の方針は。

答 リスクエリアの把握、情報共有については、地域の要望に応じ自治会、県、専門家と市が対応を話し合う「集落診断」を実施しており、これまで八幡平の湯瀬や谷内地域で実施している。また、緊急ツキノワグマ誘引樹木伐採事業費補助金のほか、自治会等での緩衝帯整備や草刈りにも活用できる事業も周知し、実施に向けて調整を行っている。

質問した項目

■熊・有害鳥獣対策について

館花 一仁 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分



録画配信はこちらから

一般質問 赤坂 勲議員（新時代かづの）

問 少子化により給食センターに余剰が見込まれる。鹿角高校への給食提供ができないか。高校への提供は職員配置、設備等課題がある。まずは小中学校の給食無償化に向けた検討を優先して進めていく。



問 地域コミュニティの維持と協働パートナーとしての地域づくり協議会のあり方について

答 市長の掲げる支え合うまちづくりのため、地域づくり協議会の役割は大きい。職員の待遇が低く担い手不足に陥っている。待遇改善が必要ではないか。

問 平成17年度の設立以降、地域の主体的な活動のサポートとして尽力いただいている。直近では令和5年度に待遇改善をしたものの、最低賃金上昇や地域づくりの重要性

の高まりなどを考慮し、来年度に向けて待遇改善の検討を行っていく。

問 未利用県有財産の活用について

答 十和田中学校野球場の排水状況に問題があり部活動に支障がある。代替地として旧十和田高校野球場の利用ができないかとの声があるが、県との協議の進捗状況を伺う。県との交渉過程において、当初、野球場は無償譲渡を検討されていたが、県の方針として校舎等と一体で取り扱うこととし、市の利活用方針が定まるまでは、野球場は有償貸付で対応したいとの意向が示されたことから慎重に検討している。

質問した項目

■市長の施政方針について ■子育て環境の充実について ■未利用県有財産の活用について ■有害鳥獣対策について ■地域振興対策について ■市有財産活用の見直しについて

赤坂 勲 議員（新時代かづの）

質問時間 30分



録画配信はこちらから